

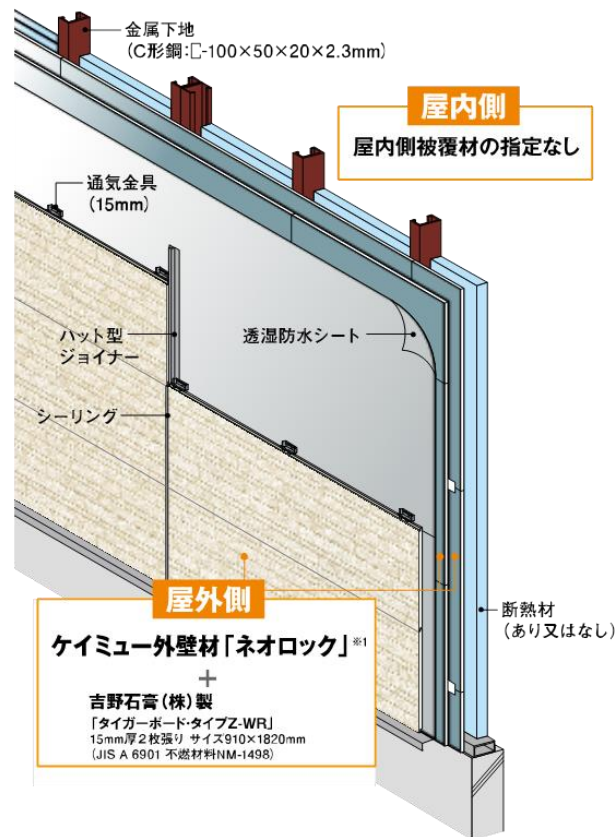
2015年2月20日

鉄骨造耐火建築物へのケイミュ窯業系サイディングの適用範囲が拡大！

鉄骨造向け外壁耐火1時間構造認定を新たに取得

住まいの外まわりを提供する、外装建材メーカーのケイミュ株式会社(本社:大阪市中央区、社長:小森隆)は、全社のスローガンである“暮らしをまもる、住まいを魅せる”の実現に向けて、この度、鉄骨造向け外壁耐火1時間構造の国土交通大臣個別認定を、新たに取得いたしました。これにより、鉄骨造耐火建築物への弊社のサイディングが益々ご利用して頂き易くなりました。

2015年4月より、新たに運用を開始させていただきます。



外装材には品揃えが豊富で、「光セラ」「親水セラ」等の高耐候性塗装が充実している「ネオロック」を設定しており、建物の美観の維持にも最適です。

また屋外側のサイディング下地に防水性、カビへの抵抗性を付加した強化石膏ボード(吉野石膏(株)製タイガーボード・タイプZ-WR)を採用いたしました。

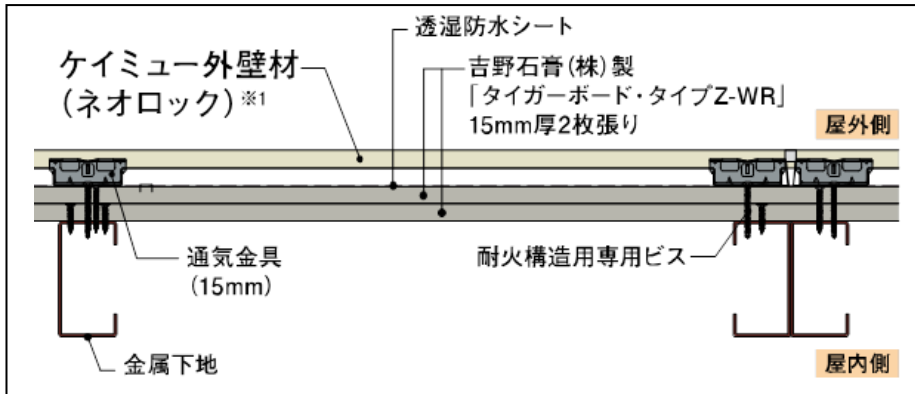
鉄骨造向けの耐火構造仕様には、弊社の従来仕様(2012年春認定、認定番号FP060NE-0176,0177)がありますが、今回の新仕様では屋内側の下地材の指定をなくし、従来仕様と比較しましてより幅広い設計要件の建物へ摘要しやすい構成としております。

併せて柱・梁についても合成被覆耐火の1時間構造認定を取得しており、本体壁面と柱・梁の取り合い部分においても簡便な施工が可能となっております。また、昨年2014年に発売した「ロング通気金具」を使用することによりサイディングの摘要範囲が高さ20mまで可能になります。

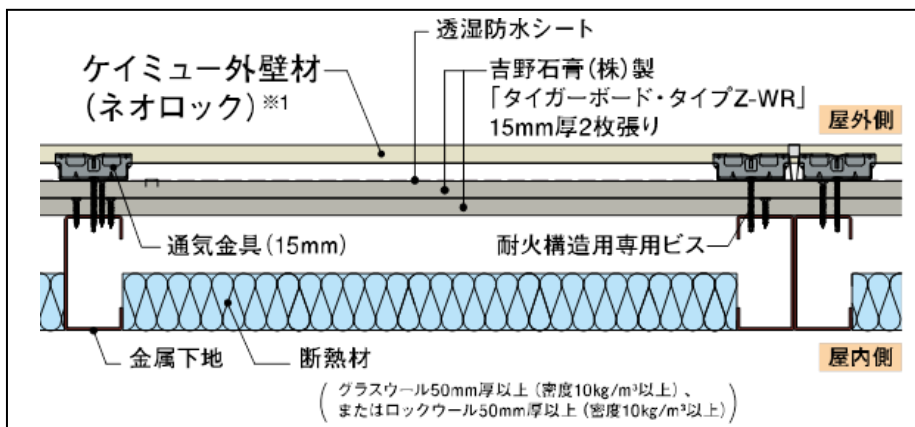
これからもケイミュは様々な住まいづくりに貢献するため、「ひたむきに、屋根、壁、雨といのこと。」を考え、研究し、新たな価値を創造して参ります。

【参考資料】

本体壁面の外壁耐火1時間構造認定の構成図



鉄骨造向け外壁耐火1時間構造(断面構成) ※断熱材なしの仕様
認定番号 FP060NE-0203(1)



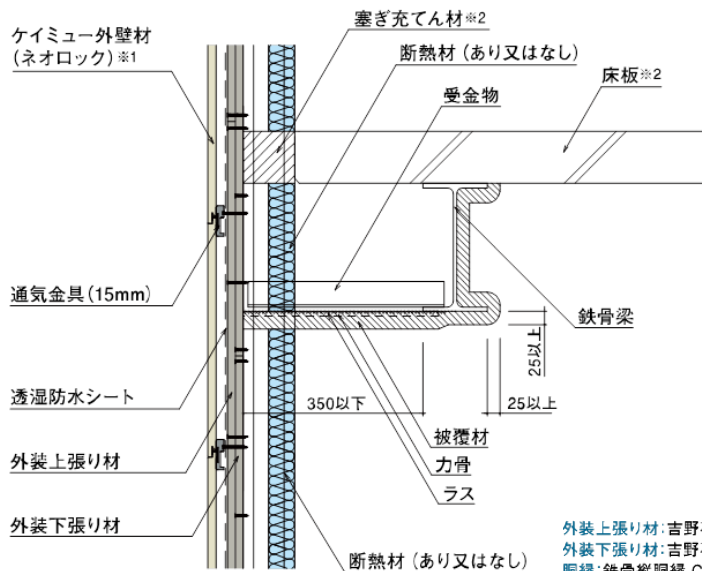
鉄骨造向け外壁耐火1時間構造(断面構成) ※断熱材ありの仕様
認定番号 FP060NE-0203(2)

梁・柱の合成被覆耐火1時間構造認定の構成図

国土交通大臣認定番号

吹付けロックウール合成被覆鉄骨梁

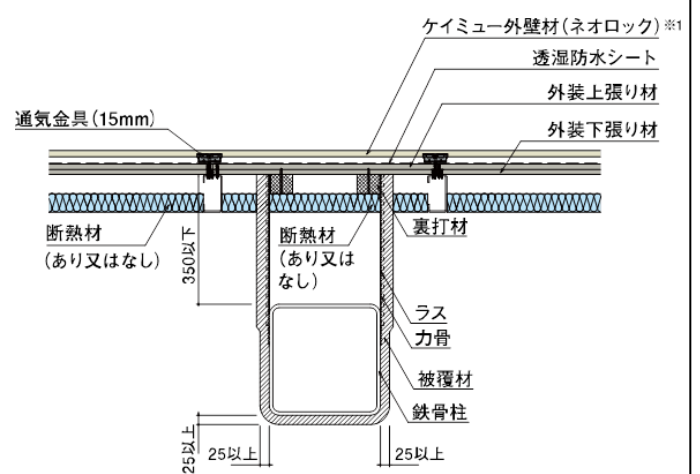
FP060BM-0361(1) 断熱材なしの仕様
FP060BM-0361(2) 断熱材ありの仕様



国土交通大臣認定番号

吹付けロックウール合成被覆鉄骨柱

FP060CN-0575(1) 断熱材なしの仕様
FP060CN-0575(2) 断熱材ありの仕様



外装上張り材:吉野石膏(株)製「タイガーボード・タイプZ-WR」(NM-1498)(JIS A 6901)厚さ15mm 910×1,820mm
外装下張り材:吉野石膏(株)製「タイガーボード・タイプZ-WR」(NM-1498)(JIS A 6901)厚さ15mm 910×1,820mm
筋線:鉄骨縦筋線 C形鋼 C-100×50×20×2.3mm
断熱材:グラスウール50mm厚以上(密度10kg/m³以上)または、ロックウール50mm厚以上(密度10kg/m³以上)
鉄骨柱:角柱鋼 -300×300×9mmの断面寸法以上
鉄骨梁:H形鋼 H-250×125×6×9mmの断面寸法以上
被覆材:吹付けロックウール25mm厚以上、密度0.28g/cm³以上

※1 光セラ18「バレスイオ」を除くネオロックのみで、工法は横張り通気金具留め施工のみ、お使いいただけます。

※2 評価内容に含まれません。